

# ともに生きる

共生



中学校

高校

道徳

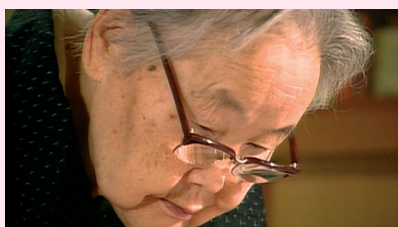
総合

日曜インタビュー 23分

## 橋のない川に橋を…作家 住井すゑ

(1991年放送)

### この番組の良さ



#### 生き方を考える

「生きている限り老後はない」、これは番組での住井すゑさん（以下住井さんと表記）の言葉です。この言葉からもわかるように、生涯現役でライフワークである『橋のない川』の執筆活動や、講演会『九十歳の人間宣言』に意欲的に取り組んできました。

インタビューから、住井さんのその前向きな生き方がリアルに伝わってきます。ひとつひとつの言葉に、人生観について考えを深めることができる番組です。

#### 『橋のない川』の題名の由来

住井さんは、インタビューの中で、その代表作である『橋のない川』の題名の由来について、「アメリカとシベリアを隔てるベーリング海峡が、もし陸続きだったら、世の中どうなっていたかを考えたから」と語っています。

「世界が一つであれば」という思いを胸に、差別について執筆活動を進めてきた住井さんの活動や、その著書とあわせることで、人権意識を高める学習としても活用できます。

### 番組活用のポイント

#### 住井すゑさんの「人生哲学」から学ぶ

本番組を視聴する前に、住井さんについて、その生涯や代表作『橋のない川』、水平社宣言などの関連する事項を、インターネットなどを活用して調べることで、インタビューで答えている住井さんのひとつひとつの言葉について、よりイメージを具体化することができます。

住井さんは小説家である夫の死を乗り越え、「人間の平等」への思いをエネルギーに変えて執筆活動を始めました。自宅の敷地内に学舎を建設し、人間平等思想の学習会を定期的に行い、各地で講演するなど、差別や戦争の不条理、平和の尊さを訴え続ける生涯だったと言えます。

このような住井さんの生き方や考え方から、自分自身を見つめ直し、自己のあり方・生き方について考察を深める学習を展開できます。

学習において生徒が主体的に取り組むために、グループ討議などの言語活動を取り入れて考えを伝えあうことで、自分の考えをはじめグループとしての意見をより発展させることができます。

#### 水平社宣言から人権意識を高める学習へ

住井さんの代表作『橋のない川』では、全国水平社が結成されるまでの主人公を中心とした差別との闘いをはじめ、被差別部落に生まれたために差別の対象となり、親から子へと苦しみを引き継がれている様子が描かれています。

道徳や総合的な学習の時間などにおいて、全国水平社宣言について学習する人権教育の機会として、番組を活用することもできます。

#### 他の番組とあわせて活用することで学習の深化を図る

ティーチャーズ・ライブラリーの関連番組である『わたしがこどもだったころ 政治学者 姜尚中』（2011年度版P.32）をあわせて視聴することで、多面的な視野から差別について学習の深化を図ることができます。

（森 浩三）

## 学習展開例

授業時間 50分

言葉から思いを感じ、  
生き方から学ぶ

ともに生きる

時間配分	学習活動	教師の支援
事前	※事前学習として、住井さんについて調べ学習をしておくことで本時の学習の深化が図られます。	
25分	① 住井さんの簡単な説明を聞き、本番組がインタビューで構成されていることを確認する。 ② 番組を視聴する。 ・インタビューでの気になる言葉や思いをメモする。 ・住井さんがどのような人物か考える。 <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p><b>視聴</b> ・自宅の庭でインタビューに答える住井さん (開始～1分49秒)</p> </div> </div>	○番組の概要説明と住井さんの紹介をする。 ○インタビューでの気になる言葉や考え方などを、メモするように指示する。 ○住井さんの言葉や思いなどから、どのような人物か想像するように促す。 <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>・自宅の庭の桜の木 ・農家のお母さんたちが孝行桜と表現する ・住井さんがその心情の美しさに感動する</p> </div> </div>
10分	③ グループで意見交換・討議をする。 ・なぜ、その言葉をメモしたか意見を出し合う。 ・グループで一番心に残った言葉や思いを決める。 ・住井さんがどのような人物か意見をまとめる。	○なぜ、その言葉が気になったか、グループをつくり意見交換させる。(言語活動) / 司会者・記録者を決めることで討議がスムーズに行えるように留意する。 / グループ全員が発言できるように助言・指導を行う。 ○住井さんの差別に対する姿勢について意見をまとめるよう指示する。
10分	④ グループ討議の結果を発表する。 ・住井さんはどのような人物か? 生き方についてどう思うか? ・なぜ、その言葉や思いが一番心に残ったか? ・差別や戦争に対する住井さんの姿勢に対してどう思うか? <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>・全国水平社宣言 「人の世に熱あれ 人間に光あれ」 (8分41秒)</p> </div> </div>	○他のグループの発表に集中させる。 ・自分たちとは違う気づきに着目させ、必要に応じてメモを取る。 ・グループの発表から、住井さんの人間像を明確にしていく。 ・場合によっては、発表に対する質問の場面を設定する。
5分	⑤ 住井さんの生き方から自分を見つめ直す。 ・本時の授業で感じたこと、気づいたこと、学んだことなど感想を書く。 <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>・「法則と人為」の違いについて語る住井さん (18分51秒)</p> </div> </div>	○住井さんの生き方のどんなところに共感できるか、問いかける。 ・本時の感想を書かせる。

## コラム

## 住井すゑさんの著書『橋のない川』から学ぶ

本番組のインタビューからは、住井さんの代表作である『橋のない川』の内容は漠然としかつかめません。差別をなくし、部落解放のためにライフワークとして著した作品に触れることで、住井さんの「人間の平等」への思いを貫いた人間像がより明確になります。

全国水平社結成までの主人公の差別との闘いの中で受ける苦しみや思いなど、平等や人権の尊さを学ぶ学習の深化を図ることができます。